

5、派遣業務内容

613 貨物自動車運転者

派遣業務内容

運送、物流業者様や製造業、加工業、販売卸売業者へ派遣され、納品、配達、回収ドライバーとしての業務

訓練名	内容	左記訓練の趣旨、目的、効果、目標等
新規採用者訓練	挨拶、言葉遣い、ビジネスマナー等	就労経験の少ない派遣労働者の雇用も想定しており、就労に必要な左記内容の基礎知識を与えることにより、日々の業務が円滑に行うことが可能となる。また、就労経験が豊富な方でも、今一度これまで培ってきた基礎知識を見直すことにより、長期就労にも結びつくと考える。事業所内にて、挨拶、マナー等の専用教材を用いて、研修を行う予定である。
運送ドライバー基礎研修訓練	車両点検研修、安全運転講習、危険予知訓練、事故を起こした時の対応等の学習	ドライバー職への就労経験がない方及び少ない方の雇用も想定しており、左記の内容はドライバー職のなかでも必需項目であるため、ドライバー職員としての基礎及び利用者等への気配り等も学ぶ。ドライバー業務の仕事を学ぶことによりドライバー職の必要性及びやりがい等を学び、ドライバーへの関心を持つことにより、長期的なキャリアを積むことができる。事業所内外にて、教材及び先輩への質疑応答や実際の車両を使って研修を行う予定としている。
ドライバー研修訓練	1年目：上司の指導を	1年目は、ドライバー業務に親しむた

	受けながらの基本的なドライバー技術の取得、業務の優先度、効率等を考え時間配分を考える。 2年目：指導を受けながら、基本的なドライバー技術の取得、相手のこと荷物のことを考えながら配送できるよう気配りをする。 3年目：1年目2年目等から学んだことを最大限活かしていくよう努力する。また研修課程の進捗状況に応じ、ドライバー応用訓練にも以降できるよう体勢を整える。	めの時間であり、ドライバーとしての必要技術等を先輩に指導を受けながら、身に付けていく。指示された業務の中から、自ら時間配分を考え、時間内に終わらすことができるようになる。そうすることにより、効率よく仕事ができるようになり、優秀な人材育成へとつながり、長期就労への一歩となることができる。 2年目からは、各自の担当を持ち、一人での運転等を行えるようにする。運転のマナー、モラルの向上を図り、安全かつ丁寧な運転を心がけ、業務を行えるようにする。基礎的なことを学び、これから先の技術の発展や、ドライバーとしての心構えを身につけることにより、長期就労を実現させることができ、自らのキャリアアップへとつながる。 3年目には1年目、2年目等で学んだこと、指導されながらしていたものを極力一人でできるよう努力を行い、1人前のドライバーとしての技術を身に付けていく。 教材及び先輩の意見を聞き、有意義に学んで行って欲しいと考える。
ドライバー応用訓練	2年目：ドライバー技術の取得、車種の大型化へのキャリアアップ 3年目：新人職員等への指導及びリーダー及び上司の補助業務	2年目：これまで培ってきたドライバー職員としての知識、技術を発揮し、車種の大型化に向けてのトレーニング及び免許の取得等を行えるようにする。自らの運転できる車種を増やすことにより、自らの発展及びキャリアアップへとつながると考える。また、自らの将来像を考え、モチベーションの向上へとつながるとも考える。 3年目：自身の運転技術についても客

		観視できるようになり、自身のポジションの理解及び後輩への指導、相談等の窓口となり、リーダー等の役職者の不足部分をサポートもできるようになる。問題の解決が実践でき、なおかつ他者へのモデルを示すことができ、リーダー的役割等もできるようになることで、より必要な人材へとステップアップすることを目標にする。また、後輩への指導と安全講習などを行うこともするようになり、自らの安全運転対策をも見直せることにもなる。 書籍、日々の会話、先輩とのグループワークを実施し、勉学に励んでいってほしいと考える。自身が必要だと考える資格の取得等にて成果を出していく。
現場責任者、管理者 研修訓練	リーダーシップについての学習、諸問題に気づき他者との意見交換、ドライバー職に必要と思われることへの積極的な取り組み、人間関係の調整、管理者の補佐	リーダーシップについての学習や、安全運転、交通事故防止のための危険予測の学習を通じて、運転分野や管理者としての応用的理解を深めることができ、予測を踏まえた介護判断ができ、緊急時を予測した対応がとれると共に緊急時には的確な対応がとれ、長期的展望にたった現場管理が実施できるようになる。 責任者としての立場として、従業員の立場や人間性を尊重し人間関係の調整を行うことにより、他者とのトラブル回避、部下たちの心理等を理解した上で組織として必要なことを指導することができる。 自分、部下等あらゆる人の心理、心情を理解し、適切な行動、適切な指示等をおくれるようになることにより、適材適所にメンバーを送り出すことがで

		き、指導的な役割を発揮することができ、管理職への道が開けるようになり、長期的にキャリアを積むことができるようになる。 意見交流会や、自身が探求できる書籍等を用い、探求内容の発表等を行いスキルアップにつなげていきたい。
--	--	--

5、上記教育訓練が、キャリアアップに資すると考える理由

新規採用者は、基本的な事を学ぶ事が必要で、日々の業務を円滑に行う上で、ドライバーの現状を理解することにより、よりドライバーの必要性について学ぶことになり、事業場でのよりよい業務を行なえるようにする。就労経験豊富な方でも基本的な事を学ぶことにより見直しができる。 現場に入り、運転技術を学び、ドライバーとしての必要知識を学ぶことにより、ドライバーとして何が必要かを深く理解し、従事することができる。少ない時間の中でより効率的に、知識及び技術を学ぶことができ、2年目以降の本格的なドライバー研修等により、ドライバーとしての自覚を持ち、自らのドライバーとしての技術の発展、安全運転、危険予測を向上させていき、ドライバーへの理解がより深まることとなる。 管理者研修により、リーダーとしての自覚、初任者の指導等で自分を見つめ直すことができ、自己のドライバー技術の発展又はドライバーを管理し、さらなるキャリアアップへとつなげることができ、雇用の安定へと資する。

7、無期雇用労働者への考慮

新規採用者訓練及びドライバー基礎研修訓練への理解を深め、日常的に運転手とは何かを考える力を身に付けることにより、ドライバーとしての問題意識等を持つことができるようになる。 ドライバー研修訓練及びドライバー応用訓練の過程で、さらなる運転技術の向上、危険への配慮、さらには車種の大型化により自らのドライバーとしての質を向上させることができるようになる。 管理者研修を行い、自らの立ち位置、また後輩の教育をしていく中で、自らの問題点、他者の問題点を客観的に見ることにより、自らのドライバーとしての技術及び精神の向上へとつながることができ、長期就労に結びつくことができる。
